

2025年3月期 ミニディスクロージャー



TOMATO通信

第142期 営業のご報告
(2024年4月1日～2025年3月31日)



蒜山高原(真庭市)

Top Message トップメッセージ

2024年度の実績

国内経済はデフレから脱却しつつあり、賃金上昇率や名目経済成長率が高まるなど新たな局面に入りつつあります。金融においてもマイナス金利政策から金利のある世界へと舵が切れ、大きな転換点を迎えています。また、海外においては米国の通商政策の影響等不確実性が高い状態が続いております。

当社グループの主な営業基盤である岡山県内経済は、物価上昇による下押しを受けつつも、緩やかな回復傾向が続いています。ただし、物価高に対する価格転嫁が比較的容易な大手企業と難しい中小事業者との業績の二極化が拡大していることも事実です。

このような環境のもと、厳しい環境下に置かれているお客さまや地域経済をお支えするため、資金繰り支援や改善支援などコンサルティング機能の発揮等に努めました結果、中期経営計画「第4次 みらい創生プラン」の初年度である2024年度の成績は次のとおりとなりました。

業容につきましては、預金残高は法人・個人預金の増加により、前期末比192億円増加し、1兆2,523億円となりました。貸出金残高は、住宅ローン等個人ローンの増加により、前期末比222億円増加し、1兆626億円となりました。

損益につきましては、経常収益が貸出金利息や株式等売却益の増加等により前期比8.4%増の193億88百万円となりました。経常利益は、与信関連費用が増加したものの資金利益の増加等により、前期比8.7%増の22億84百万円、当期純利益は前期比14.7%増の16億20百万円と増収増益決算となりました。

お客さま、地域の皆さま、株主の皆さまへのメッセージ

当社は創業時からの「相互扶助」の精神に基づき、お客さまに徹底的に寄り添い、資金繰り支援はもちろん、事業の本業支援、経営改善支援等にも積極的に取り組んでまいります。また、個人のお客さまに対してはライフプランに合わせ資産形成支援や資産承継支援に取り組んでまいります。

お客さま、地域の皆さま、株主の皆さまにおかれましては、引き続き変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2025年6月

当社の概要 (2025年3月31日現在)

本店所在地 岡山市北区番町2丁目3番4号
創立年月日 1931 (昭和6) 年11月9日
資本金 143億1,000万円
預金 1兆2,523億円
貸出金 1兆626億円
店舗数 61カ店
(岡山県53カ店、兵庫県4カ店、広島県・大阪府・東京都各1カ店、インターネット支店1カ店)
社員数 741名 (嘱託・パート社員除く)
ホームページ <https://www.tomatobank.co.jp/>

トマト銀行グループ

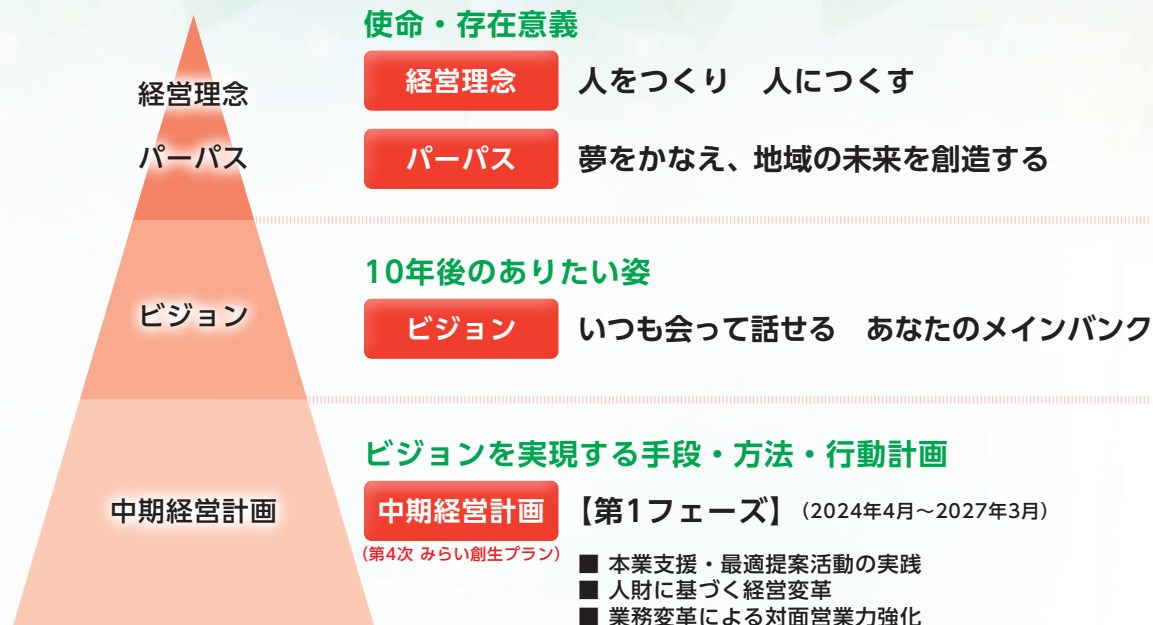
トマト銀行

トマトビジネス株式会社 (出資比率100%)
銀行業務の後方事務

トマトリース株式会社 (出資比率100%)
リース業務

トマトカード株式会社 (出資比率100%)
クレジットカード業務

■ 経営理念体系（パーパス・ビジョンの制定）



パーパス・ビジョンに込めた想い

トマト銀行の原点は、昭和恐慌の最中の1931年11月9日に「地域の飛躍」を目指して誕生した「倉敷無尽」です。

創業時より、地元から資金を集め、地元の資金が必要な人に融資する庶民の銀行として地元根差した経営を行ってきました。

1989年4月の普通銀行転換時には、地域の皆さまのより身近な存在としてありたいと、社名を「トマト銀行」へ変更する等、私たちは時代と共に柔軟に変化してきました。

これまでの歴史の中で、数多くの困難もありましたが、社員の努力と地域の皆さまに支えていただき、今があります。

政治、経済、社会情勢が目まぐるしく変化し、人々の行動様式や考え方が大きく変わり、銀行に求められる役割も変わっています。不確実性が高まる時代だからこそ、当社の存在意義、10年後のありたい姿を全役職員で改めて考え、今回、パーパス（存在意義）とビジョン（10年後のありたい姿）を制定しました。

2031年の創立100周年に向け、私たちは創業時の「相互扶助」の精神を忘れず、「人と人をつなぐ、人の想いを未来につなぐ」人財を育成し、地域の皆さまのために変化と挑戦を続けることで、トマト銀行に関わるすべての人にとって「地域になくてはならない銀行」としてあり続けます。

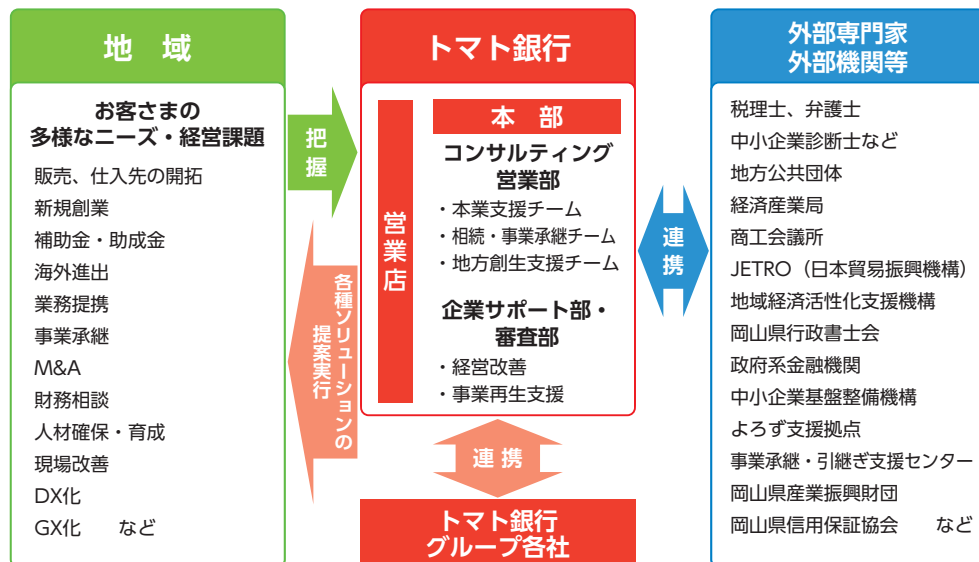
■ 中期経営計画（第4次 みらい創生プラン）の基本戦略・経営目標（単体）



目 標 項 目	2024年度実績	2026年度目標 (中期経営計画目標)
コア業務純益 (投信解約損益を除く)	32億円	32億円
当期純利益	16億円	19億円
自己資本比率	8.8%	8%以上
OHR (コア業務粗利益ベース)	77.4%	75%程度
ROE<連結> (当期純利益ベース)	3.22%	中長期に5%を 目指します

法人のお客さまへの 本業支援

お客さまの経営課題・ニーズに応じた事業・財務の本業支援を実践しています。



事業・財務の本業支援



本業支援アクション先活動報告会

営業店・本部がお客さまと一体となって作成した「経営レポート（事業性評価シート）」に基づきお客さまと経営課題を共有し、課題解決に向けた各種本業支援策の実施や資金繰り・資金調達構造の改善等に取り組んでいます。また、役員、本部関係部署、営業店がお客さまの経営課題解決に向けたソリューションを検討する「本業支援アクション先活動報告会」を定期的に開催しています。

事業承継支援に関する連携協定



事業承継支援に関する連携協定

岡山県北における中小事業者の事業承継支援を強化するため、津山商工会議所と「事業承継支援に関する連携協定」を締結しました。

今後も事業承継ニーズを幅広くカバーし、経営、融資に関するご相談やM&A、専門家、専門機関をご紹介する等、地域経済の発展に向けた取り組みを行ってまいります。

個人のお客さまへの 最適提案

お客さまのライフプランに合わせた最適な商品・サービスを提供しています。



近隣金融機関との「相続手続きの共通化」

相続手続きの共通化の概要

- ・相続手続き依頼書の様式、記入方法の共通化
- ・相続手続きの簡素化基準の共通化
- ・ご提出いただく確認書類の共通化

近隣金融機関と提携し、預金等の相続手続きを共通化しています。(2024年10月より28金融機関へ拡大)

また、2024年11月に岡山県内の11金融機関と共同で「岡山県内金融機関業務検討協議会」を設立しており、非競争分野の各種業務を中心に高度化、効率化、共同化等を検討するなど、お客さまの利便性向上に向けて取り組みを進めてまいります。



トピック

■住宅ローンセンター岡山が6月5日に新築移転オープンしました！

6月5日に住宅ローンセンター岡山を新築移転オープンいたしました。お客さまが快適にご相談していただけるように相談ブースを増設し、セミナー開催ができる会議室を新設いたしました。引き続きお客さまのライフイベントに合わせた最適な提案ができるように利便性の向上に努めてまいります。



■「こトラ送金」ができるようになりました！是非ご利用ください！

こトラ送金は「1回あたり最大10万円までの個人あて送金」が手数料無料でご利用いただけるサービスです。



No.1
利用頻度

かんたん残高・
入出金明細・
定期預金明細照会

残高・入出金明細・定期預金
明細の確認が、いつでも・
どこでもスマホからできます！

No.2
利用頻度

ローン残高照会・
返済予定表照会機能

お使いいただいているローンの
残高照会・返済予定表照会が
簡単便利に！

No.3
利用頻度

店舗・ATM検索・
各種ログイン

店舗・ATM検索や各種サ
ービスのログインができます！

ウォレット機能
「WalleToma(ウォレトマ)」

WalleTomaによりスマホ
タッチ決済、ネット支払、
送金、お引出しが可能です！

各種お申込み・お手続き

来店不要で各種お申込み・お手
続きができます！通帳レス口座
への切替、各種ローンのお申込み、
住所変更をスマホから！

トマト・スマート通帳

他金融機関口座、クレジット
カード、電子マネーの一括管理
ができます！

アプリのダウンロードはこちらから

iPhoneをご利用の方



Androidをご利用の方



・Apple、Appleのロゴ、App Storeは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
・Google Play、Google Playロゴ、Android、AndroidロゴはGoogle LLCの商標です。
・QRコードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。



サステナビリティへの取り組み

サステナビリティ方針

トマト銀行グループは、「経営理念」に基づく企業活動を通じて、サステナビリティを巡る課題解決に取り組むことで、地域社会・環境の持続的な発展に貢献していくとともに、トマト銀行グループの中長期的な企業価値の向上と持続可能な成長を目指してまいります。

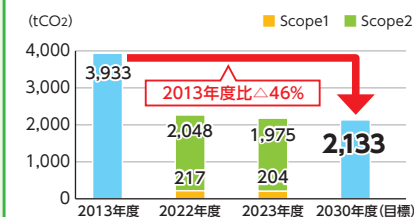
2021年12月

TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言への賛同

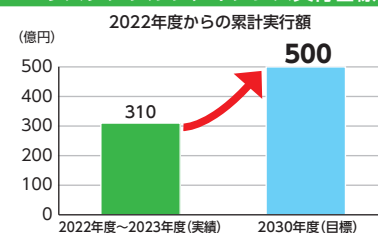
TCFD
TASK FORCE ON
CLIMATE-RELATED
FINANCIAL
DISCLOSURES

2023年3月に「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）」提言への賛同を表明しており、気候変動対応に関する取り組みと情報開示を行ってまいります。

CO₂排出量（Scope1,2合算）の状況および目標



サステナブルファイナンス実行目標



公益社団法人岡山県緑化推進協会



トマトSDGsエコ定期預金 贈呈式

業務を通じた環境への取り組み

森林整備や緑化推進などの環境保全活動にお役立ていただくため、「トマトSDGsエコ定期預金」のお預入総額の0.1%（上限30万円）を「緑の募金」（公益社団法人岡山県緑化推進協会）へ2009年より毎年寄付しています。また、アプリの通帳レス口座への切替を通じて環境への取り組みを推進しています。

トマト・デジタルサイネージ広告



各店舗に設置しているデジタルサイネージ（映像表示モニター）で、金融商品などに関する情報の放映に加え、新たにお取引先の商品・サービスのPRや地域へのメッセージの発信にご活用いただくことができるようになりました。

●自治体のSDGs登録制度への賛同状況

岡山市：岡山市SDGs推進パートナーズ
倉敷市：倉敷市・高梁川流域SDGsパートナー
真庭市：真庭SDGsパートナー制度



岡山市SDGs
推進パートナーズ



サステナビリティへの取り組み



寄付型私募債 贈呈式

地方創生への取り組み

●トマトSDGs私募債

お客さまよりいただく私募債発行手数料の一部を活用して、地域の学校や自治体等へ寄付や物品を寄贈するトマトSDGs私募債を取り扱っています。

▶寄付型

(教育応援、地元スポーツチーム応援、地方創生)

▶内容型 (環境対応、BCP対応)



真庭市デジタル地域通貨「まにこいん」

2023年1月からサービスを開始した真庭市デジタル地域通貨「まにこいん」は、真庭市内で使えるデジタル地域通貨で、スマートフォンのアプリにより加盟店で電子決済や地方税統一QRコードを利用した税納付に対応しています。2024年2月より「健康管理機能」を追加しており、2024年7月よりローソン銀行ATMから現金チャージが可能になっています。また、2025年3月にはユーザー数24,000人を達成しています。



ファジアーノ岡山 チーム強化資金贈呈式

スポーツ支援の取り組み

スポーツを通じた地域貢献活動として、地元のサッカーチームやバスケットボールチームを応援するため、お預入総額に応じてチーム強化資金を贈呈する応援定期預金などを取り扱っています。



おかやま共創パートナーシップ

連携協定に基づく取り組み

トマト銀行、中国銀行、日本政策金融公庫、岡山県信用保証協会の連携協定「おかやま共創パートナーシップ」では地域経済の活性化に向け、さまざまな取り組みを行っています。

- 2024年 5月 2024年度 診療報酬改定オンラインセミナーの開催
- 2024年 6月 「SDGs de 地方創生」カードゲーム研修会の開催
(対象：岡山市SDGs推進パートナーズ登録事業者)
- 2025年 1月 第5回 おかやま共創アグリセミナーの開催



「夏休み！トマト銀行子ども探検隊2024」

金融教育への取り組み

地域の小学生等の皆さまに金融授業や銀行窓口体験などを通じてお金や銀行の役割について理解・関心を深めていただく「夏休み！トマト銀行子ども探検隊」など、幅広い金融教育活動を行っています。



健康経営への取り組み

「トマト銀行健康経営宣言」を策定し、定期健康診断・人間ドックの100%実施などに取り組んでいます。

また、「健康経営優良法人認定制度」において、特に優良な健康経営を実践している企業として「健康経営優良法人2025（大規模法人部門）」に認定されています。

ダイバーシティ推進への取り組み

2024年3月、岡山県が登録する「おかやま子育て応援宣言企業」のうち、特に積極的な取り組みを実施している企業として「アドバンス企業」に認定されています。



【女性活躍推進の行動計画】 計画期間：2021年4月1日～2026年3月31日

定量的目標	2025年3月末（実績）	2026年3月末（目標）
係長以上に占める女性の割合	17.12%	20%
女性の融資係・渉外係	30名	50名
男性の育児休業取得率	95.5%	80%以上
所定外労働時間（月平均）	12時間29分	10時間以内

マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策に関する取り組み

金融庁により公表されたガイドラインに基づき、マネー・ローンダリング及びテロ資金供与の防止が国内のみならず国際的にも要請されている重要課題であることを認識し、これらの課題に厳正に対応するため、「マネー・ローンダリング及びテロ資金供与の防止に関する基本方針」を定めて、適切な管理体制の構築に努めています。



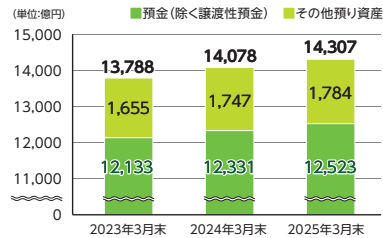
2024年7月、岡山県警察と県内12金融機関でSNSを通じた詐欺被害の注意喚起を実施するなど、金融犯罪被害防止のため連携して対応しています。

2025年3月期 業績ハイライト (単体)

- ・預り資産は法人・個人預金残高の増加に加え、投資信託や個人年金保険の残高が増加したことにより、前期末比228億円増加し1兆4,307億円となりました。
- ・貸出金残高は、住宅ローン等個人ローンが増加したことにより、前期末比222億円増加の1兆626億円となりました。
- ・コア業務純益は、貸出金利息や株式等売却益の増加により前期比1億48百万円増加の32億38百万円となりました。
- ・経常利益は、与信関連費用が増加したものの、貸出金利息の増加や株式等関係損益の増加により資金利益が増加したため、前期比1億84百万円増加の22億84百万円となりました。

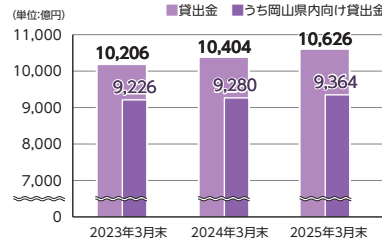
預り資産

14,307 億円
(前期末比+228億円)



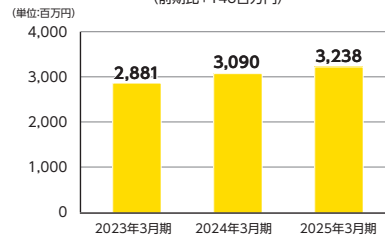
貸出金

10,626 億円
(前期末比+222億円)



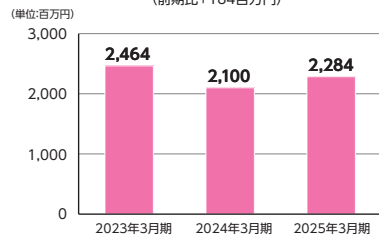
コア業務純益

3,238 百万円
(前期比+148百万円)



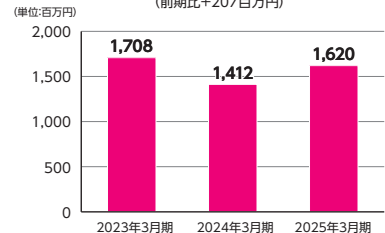
経常利益

2,284 百万円
(前期比+184百万円)



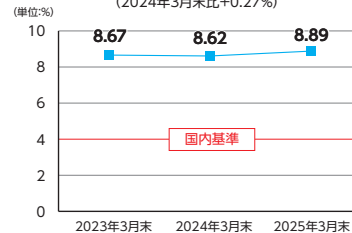
当期純利益

1,620 百万円
(前期比+207百万円)



自己資本比率

8.89%
(2024年3月末比+0.27%)



役員 (2025年6月27日現在)

取締役社長 (代表取締役)	高 木 晶 悟	取締役	谷 本 浩 二	常勤監査役	光 貴 潤 一
専務取締役 (代表取締役)	井 上 正 樹	取締役	中 川 一 雄	監査役※2※3	奥 田 哲 也
常務取締役	田 部 眞 康	取締役	八 木 大 治	監査役※2※3	古 南 篤 子
常務取締役	坪 田 泰 久	取締役※1※3	小 川 洋	監査役※2※3	瀧 口 信 雄
		取締役※1※3	上 岡 美 保 子		

※1は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。 ※2は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。
※3は、東京証券取引所へ届出を行っている独立役員であります。

株式の状況・株式のご案内 (2025年3月31日現在)

株式の状況

- 発行済株式総数 … 12,679,030株 (普通株式11,679,030株、第2回A種優先株式1,000,000株)
- 株 主 総 数 … 10,771名 (普通株式 10,749名、第2回A種優先株式 22名)

株式のご案内

- 決算日 … 毎年3月31日
- 定時株主総会 … 毎年6月に開催します。
- 基準日 … 定時株主総会 毎年3月31日 期 末 配 当 金 毎年3月31日
中 間 配 当 金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
- 公告方法 … 電子公告とします。
インターネットホームページ：https://www.tomatobank.co.jp/
ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞および岡山市において発行する山陽新聞に掲載して公告します。

- 株主名簿管理人および 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
- 株 主 名 簿 管 理 人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事 務 取 扱 場 所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 電 話 照 会 先 ☎0120-782-031

(インターネットホームページURL)
https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社へお願いします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】
株主電子化前に「[ほふり]」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いします。

<単元未満株式の買取または買増請求について>
単元未満(100株未満)の株式につきましては、買取または買増を請求いただくことができます。そのお手続きを希望される場合には、単元未満株式が証券会社等の口座に記録されている株主様はお取引の証券会社等へ、特別口座に記録されている株主様は特別口座の口座管理機関(三井住友信託銀行株式会社 ☎0120-782-031)へ、それぞれお申し出ください。

岡山県 真庭市

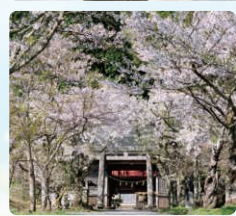
岡山県北部で中国山地のほぼ中央に位置しており、北は鳥取県に接し、東西に約30km、南北に約50kmの広がる岡山県下で最も大きな自治体です。気候は年間を通じて比較的穏やかで、台風や地震などによる災害も総じて少ない地域です。



真庭市内で使えるデジタル地域通貨で、スマートフォン等にチャージして加盟店で電子決済手段として利用できます。

蒜山エリア

茅部神社 (石の大鳥居)



古くは天磐座（あまのいわくら）、十二所権現社ともいわれた歴史ある社。春には、石の大鳥居から神社までの参道約1kmを美しい桜並木が彩り、蒜山の桜の名所にもなっています。茅部神社の参道にそびえる、高さ13mもある巨大な明神型石鳥居は日本一の規模を誇り、真庭市の指定文化財にもなっています。また、この石鳥居は、岩倉山から花崗岩を切り出して1863（文久3）年から3年かけて完成させています。

蒜山エリア

旧遷喬尋常小学校



1907（明治40）年にルネッサンス様式の木造校舎として建てられた、完全なシンメトリー（左右対称）のデザインと白亜の外観が印象的な小学校です。映画のロケ地としても人気です。

湯原エリア

湯原温泉砂湯



湯原ダムの下流に位置し、旭川沿いに広がる人気の温泉。湯量が多く、良質なアルカリ性の高い泉質で肌ざわりがなめらかです。温泉街のシンボルは川底から湧き出る温泉でできた天然の大露天風呂「砂湯」。地元の方の協力によって24時間無料で開放されています。また、湯原ダムは一級河川「旭川」の治水とともに電力供給の基地として建設され、洪水調整および発電を目的とする「多目的ダム」。有効貯水容量は岡山県内第1位です。

新庄・美甘エリア

毛無山

鳥取県との県境に位置し、樹齢100年生のブナの原生林や天然杉が続きます。白馬山にかけての縦走路には、カタクリの花が見られ登山者に人気があります。



北房・落合エリア

醍醐桜

県下一の巨木と伝えられる醍醐桜は、新日本名木百選にも選ばれると同時に、1972（昭和47）年12月には岡山県の天然記念物に指定されています。伝説によれば、1332（元弘2）年後醍醐天皇が隠岐配流の際、この桜を見て賞賛したといわれ、この名がつけました。樹齢は700年とも、また地元の説では1000年ともいわれています。



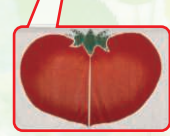
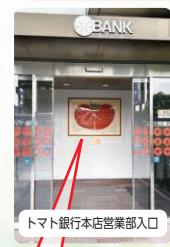
勝山・久世エリア

勝山町並み保存地区

勝山のお雛祭り



桃の節句を祝って道沿いに並ぶ160軒余りの民家や商家の軒先、部屋に飾ったお雛様を楽しむイベントがあります。



出雲街道の宿場町・城下町として栄えた勝山。今でも昔ながらの白壁の土蔵、格子窓の商家、古い町並みが残っており、岡山県で最初に「町並み保存地区」に指定されました。“のれん”が勝山のシンボルになっています。トマトをモチーフにした勝山の“のれん”が、岡山市内のトマト銀行本店でも見ることができます。

勝山・久世エリア

久世トンネル桜



旭川堤防の約1kmに約180本のソメイヨシノが植えられています。桜が道路を覆いトンネルとなっていることから「トンネル桜」と名付けられました。

北房・落合エリア

ホタルの里



北房エリアは環境省の「ふるさといきもの里百選」にも選ばれた、岡山県の代表的なホタルの里。備中川沿いに、ゲンジボタル、ヘイケボタル、ヒメボタルの3種類が生息しています。北房では地域全体でホタルを守っています。

写真提供：岡山県観光連盟